

令和元年度 児島小学校 PTA 人権教育講演会

- 1 日時 : 令和元年11月2日(土) 9:50~10:50
- 2 講師 : 学校法人盈進学園 盈進中学高等学校
ヒューマンライツ部 ・ 延 和聡 先生
- 3 演題 : 「人を大切に なかまを大切に」



【感想】

保護者・地域の方

- すばらしい発表でした。わかりやすく感動しました。久しぶりにいい気持ちになり、また今からやさしい気持ちで子どもたちと接することができます。ありがとうございました。ヒューマンライツ部のみなさん、これからも頑張ってください。
- 広島の前爆をわかりやすく伝えてくれていた。語り部さんが高齢になっていく中、こうした活動を続けていくことはとても大切だと思う。小学生の子どもたちにとって身近な中高生の活動に、共感できた部分もたくさんあったと思う。興味を持った子は、この学校に行きたいと思ったかもしれないくらい、親としてもとてもいい人権講演会だったと思います。ハンセン病問題も耳にしたことのある言葉ではあるが、詳しくは知らないことだったのでよかったです。収容所のこと岡山にあることすら知らなかった。知らない人はもっといるはず。もっと多くの人たちに伝えていってほしいと思いました。
- ありがとうございました。わかりやすい演出ですばらしい手話と言葉で平和と人権を教えていただき感謝します。初めてです。こんな勉強をさせていただいたのは。基本の平和、そんなことも普通と思っていた、偏見を持ったまま今日まで生きてきたことが恥ずかしい。ヒューマンライツ部の皆様、ありがとうございました。
- 盈進中学高等学校のヒューマンライツ部というのも知らなかったし、活動の内容もよくわからないなあ、というのが受ける前の思いでした。同じ岡山県にあっても長島愛生園のことも詳しく知らず、今日、こういう映像を見たりして知ることができました。少しのきっかけで、悪い方に進むこともあれば、少しのきっかけで物事の一步が始まり、どんどん

広がっていくのでは・・・と思います。思いや希望するだけでなく、考えながら行動していること、素晴らしいです。これからの日本・社会、あなた方のような人が増えてくれたら変わってくるでしょう。児島小学校へ来てくれてありがとうございます。

□ たくさんの活動をまじめに行ってきたうえで、発表では流行なども取り入れ、単なる講演ではなく、工夫が凝らしてあってとてもすばらしかったです。テーマはどれも重いけれど、目をそらしてはいけないもので勉強になりました。ありがとうございます。ぜひ、これからも多くの人に伝える活動をしていってほしいです。

□ すばらしい活動だと思いました。小学生にも分かりやすく、戦争が怖い、いけないことと伝わったと思います。今、戦争を経験したことのない世代が、世界を動かすトップになってきて、また繰り返されないか心配の声もあがってきています。その場にいた人たちの声を絶やさず、このように子どもたちが伝えてくれている姿はたくましく、感動しました。これからも頑張ってください。

□ 今まで見たどの講演会よりも心に刺さる今日のお話。自分の子どもと同世代の中高生たちの心のこもったお話が胸に響きました。演劇部の劇ではない、生徒たちが実際に見たこと、感じたことを声の強弱をつけて話されていて引き付けられました。予定時間を少しオーバーしましたが、それを感じさせないあっという間の時間でした。朝早くから、遠いところからありがとうございます。時間を見つけて、子どもを原爆資料館に連れて行こう、と思いました。

□ 今日の話聞くまで、ハンセン病についてはくわしく知りませんでした。テレビで少し見ただけで深く考えることはありませんでした。今回話を聞いて、ひどい差別をされていたんだと思うと自然と涙が流れていました。いつか娘が大きくなった時、訪ねて行きたいと思いました。手話の歌も心を打つものがあり、涙が流れてしまいました。娘も少しですが、手話で歌をしてくれたことがあります。娘は3年生ですが、戦争などの話は知らずに育っているので、この機会にじっくり親子で調べて話し合ってみようと思いました。今日は、ありがとうございます。

- 戦争，ハンセン病問題どちらも胸が締め付けられるような思いでした。そして，盈進中学高校の生徒の方の言葉の一つ一つがとても心に刺さりました。私は，岡山に住んでいながらハンセン病問題についてあまりにも無知であったなと恥ずかしくなりました。私よりもずいぶん年の離れた生徒たちの方が，きちんと事実を知り，受け止め，自分なりに考え，その想いを行動へとうつつしている。頭が下がる思いでした。皆さんが披露してくださった手話はとても美しく，一人一人の強い意思や優しさが表れているようでした。
- 『人を大切に なかまを大切に』すること，我が子にも改めて伝えたいなと思いました。そして，私自身もそんな背中を子どもたちに見せられるよう努力したいと思います。

5, 6年 児童

- 今回の講演会で，再度，人の人権について考えさせられました。特にハンセン病についてのお話です。ハンセン病になったからといって強制的にしゅうようされてつらい生活を送ることになった人のこと，そこで死んでしまった人のこと・・・とても胸が痛みました。映像で見た金さんの当時の気持ち，つらさ，聞くことで変えられる何かがあるということも勉強できてよかったです。
- 私は，これからもっと友達を大切に，差別をなくし，みんな平等で楽しく生活をおくるための努力をする。ささいなことでも「ありがとう」「ごめんなさい」は絶対言うこと，争いをなくすためすぐにあやまる。ほかに，態度であらわす。これが大切だと思う。自分が悪いと思うことは，まわりに流されず「それって，ダメじゃない？」と言えるようになりたい。戦争をなくすには，まず自分から。
- 人に任せるのではなく，「自分から行動をおこす」それが大切だと分かり，今後人生に生かしていこうと思いました。生きていく中で役立つこともあり，中には，平和じゃない人もいるということがあらためて実感できました。実際に体験した人々の話など映像で流れてきて，昔，日本は大変で苦しくて，つらい人であふれていることが分かり胸が苦しくなりました。こうして今，ヒューマンライツ部の人たちが行動を起こしているのもすごいことだと分かりました。

- 今日初めてハンセン病がどんなものなのかを知りました。最後のほうに出てきたキム・テグさんは、すごく差別を受け、朝鮮から父を頼りに来たが閉じ込められ、家族が死ぬときもいっしょにいてあげられなかった。ということを知ったとき、日本は昔、今とは違いすごくおそろしかったのだと思いました。東日本大震災での被災者の人との交流や支援活動はきずつくことを言われても誰かのために動いていてすごいと思った。人権とは、日本だけでなく、世界でつながり世界が大切にすべきものだ、今日の教育講演会を通してより感じました。
- ヒューマンライツ部のみなさんが国の平和のためにいろいろな活動をしていることを知って、私も平和のためにできることを考えました。私は、広島におばあちゃんが住んでいるので、原爆ドームには2回行ったことがあるけど、怖くてなかなかじっくり見たことがありませんでした。だけど、ヒューマンライツ部のみなさんが、原爆や戦争から目をそらさずに署名活動や平和について考えていたことを、私たちに分かりやすく説明してくださったおかげで、次に行ったときちゃんと見て感じようと思いました。ヒューマンライツ部のみなさんが言っていたことをわすれないようにしたいです。
- 県外からわざわざ私たちのために来てくださりありがとうございました。特に心に残っているのは、ハンセン病のことと原爆についてです。被害者の方たちはとても辛い目にあっただなと思い胸が苦しくなりました。テレビで放送しているのを見たことがあるけど、くわしく知ることができなかつたので、とても良い勉強になりました。もし、自分や家族、友達がこんな目にあったら…。自分が、もしこの状況にいたらどうするだろう…。そんなことを考えさせられるような時間でした。手話歌もとてもよかったです。ヒューマンライツ部のみなさんを見習って、自分で考え、行動に移せるような人になっていきたいと思いました。教えてくださったことを忘れないようにします。ありがとうございました。

原文のまま掲載 児童はひらがなを一部漢字に直しています。

